

# 風のてのひら

～南高だより No. 77～

平成31年1月25日発行

発行責任者：長崎県立五島南高等学校

校長 大川 周一

校長室の窓から

## 「元号」を考察する

早いもので2019年が明けて一月が経ちました。新しい年が明けたと言っても、あと3か月ほどで平成31年は終わってしまいます。5月1日には皇太子徳仁親王が即位され、元号が改まって〇〇元年を迎えます。元号は、天皇の交代による「代始め改元」、吉事を理由とする「祥瑞改元」、凶事の影響を断ち切るための「災異改元」などで改められてきましたが、現代では元号法により、皇位継承があったときに限り政令で改元されると定められています。日本最古の元号は645年の「大化」で、その歴史は飛鳥時代に遡ります。その後、701年の「大宝」からは、さまざまな文書に元号を記すよう制度化(大宝律令による)され、なんと1300年以上もこの慣わしが続いていることには驚きです。中国発祥の元号を今でも使っているのは日本だけで、国家・社会の安寧と平和で幸せな新しい時代への願いが込められた改元は、今回で248回目となります。因みに、これまでの元号の最長は「昭和」の62年と14日、最短は鎌倉時代の「暦仁」の2か月余り、「平成」は30年と4か月で歴代4番目に長い元号となります。

元号はもともと天皇が決めるものとされていましたが、平安時代のころから、天皇が文章博士ら学者に考案させ、公卿会議で選定されるようになりました。現代では、元号法に従って内閣総理大臣が専門家数人に新元号の考案を委嘱し、有識者による検討を重ねた上で、最終的には閣議において決定されます。元号の選定には、国民の理想としてふさわしい良い意味を持つものであること、漢字2字であること、書きやすく読みやすいこと、これまでに元号又は追号(おくり名)として用いられていないこと、人名・地名・商品名・企業名など俗用されていないこと、イニシャルが明治(M)、大正(T)、昭和(S)、平成(H)と重複しないなど、さまざまな制約があるようです。いずれにせよ、新しい時代にふさわしい親しみやすい元号が選定されることを期待したいと思います。

ところで、平成の2文字は、『書経』の「地平らかに天成る」と『史記』の「内平らかに外成る」から引用されたといわれており、天地にも国の内外にも平和と繁栄が訪れるようにという願いが込められた元号でした。しかし、平成元年(1989年)にはベルリンの壁が崩壊し、瞬く間に東西冷戦が終結、これで世界平和が訪れるという期待感が膨らんだ矢先、湾岸戦争(1990年)が始まり日本もPKO活動に参加するなど、世界情勢は再び不安定な状態に陥り、未だに国際紛争に終わりは見えません。一方、国内に目を向けると、平成3年の雲仙普賢岳災害、平成5年の北海道南西沖地震、平成7年の阪神・淡路大震災、平成23年の東日本大震災、平成28年の熊本地震など大きな自然災害に見舞われた時代でもありました。振り返れば、情報化社会の急激な進展に伴い、人・物・金が国境を越えて、世界市場で活動するグローバルイズムの巨大な潮流が中で、まさに光と影が入り乱れた30年であったような気がします。次の時代が安寧な時代になることを祈るばかりです。

古来より日本人は節目を大切に、時間の経過を意識してきました。西暦は変わらずとも、改元によって時間に境目が生じることを、私たちは今の時点で知っています。元号は人為的な時間の区切りに過ぎないかも知れませんが、昭和から平成への遷り変りを20代前半に経験した私にとって、この境目は人生において大きな意味があるように思えてなりません。皆さんは、青春時代の前半を平成で過ごし、後半を新しい元号で過ごすこととなります。新たな元号の時代に、その高く澄んだ若い瞳で何を見つめ、澆刺とした若き心で何を思い、燃ゆる若き生命で何に打ち込むのだろうか。もうすぐ節分、今年の恵方「東北東」を向いて巻き寿司を口いっぱい頬張り、何を願うのだろうか。



## ～新年のご挨拶～



日ごろから、本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

保護者、地域の皆様におかれましては、平成最後のお正月をご家族とともに楽しくお過ごしになられたことと拝察いたします。

本年も教職員一同、力を合わせ、子どもたちの健やかな成長と進路実現に向けて邁進する所存でございます。保護者、地域の皆様の一層のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

皆様にとりまして、ご健勝でご多幸な一年になりますよう、心からお祈り申し上げます。

五島南高等学校長 大川周一

## ～下五島百人一首大会～

1月10日(木)五島高校のセミナーハウスにおいて、第37回下五島地区高等学校百人一首大会が行われました。12月の校内百人一首大会で上位だった9名が学校代表として参加し、五島高校、五島海陽高校、奈留高校と対戦し、取り札総数442枚、1勝2敗で惜しくも3位という成績でした。しっかりと頑張ってくれました。



## ～五島市の魅力講演会及び五島市合同企業説明会～

1月18日(金)五島市中央公園市民体育館において、五島市の魅力講演会及び五島市合同企業説明会が行われました。講演会では五島市に移住し事業をなさっている方と、Uターンで島に戻ってこられた方の話を聞きました。どちらも福江島の自然の豊かさ、そこに住む人の素晴らしさやつながりについて熱く語っていただきました。その後は企業ごとのブースでの説明会。島内企業の特徴や魅力、島で働くことのメリットなどを聞き、生徒はメモを取ったり積極的に質問したりしました。島内就職をした五島南の卒業生も説明に来ており、生徒たちにとって将来について真剣に考える良い機会だったと思います。



## ～2月の主な行事予定～

- 2月 4日(月) 会場設営(午後放課)
- 5日(火) 推薦・離島留学選抜検査
- 7日(木) 3年登校日  
進路が『ソ』セミナー(1、2年)
- 8日(金) 月曜授業  
第4回考査時間割発表(1、2年)
- 12日(火) 45分短縮授業  
服装頭髪指導
- 14日(木) 3年登校日  
卒業生を送る会
- 19日(火) ～22日(金)  
第4回考査
- 21日(木) 3年登校日
- 25日(月) ～27日(水)  
テスト返却特別時間割
- 25日(月) 式場設営
- 28日(木) 同窓会入会式、表彰式、卒業式予行

ご相談やお気づきがあれば

いつでもご連絡ください。

五島南高校 電話 0959-82-0132

FAX 0959-82-0185

五島南高校メールメイトに是非ご参加ください。以下のアドレスに空メールを送ってご登録ください。

gotominami-t@m-mate.com

